

2023年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



夏かぜについて

夏かぜとは夏に流行るウイルス性の病気を言います。コクサッキー、エンテロ、エコー、アデノウイルスなどがあります。今年はヘルパンギーナが流行ってきています。

1)ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスの感染で起こります。38～40℃の高熱が2, 3日出ます。のどが赤くなり、のどの奥に小さな水ぶくれがいくつもできます。のどが痛いときは固いものやすっぱいものを避けます。

2)手足口病

主にコクサッキーA16、A6あるいはエンテロ71ウイルスの感染で起こります。手のひら、足の裏、口の中、膝やお尻に発疹、水ぶくれができます。熱は出ないこともあります。のどから2～3週、便からは4～5週間ウイルスが排出されますので長い期間うつりますし、発疹が出る前からうつります。

3)咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルスの感染で起こります。のどが赤く痛くなり、結膜炎を起こします。プールで感染することが多いのでプール熱とも呼ばれますが、プールに入らなくてもうつります。39℃以上の高熱が4～5日続きます。安静と水分補給が大切です。目からもうつりますのでタオルなどを共有しないようにすることが大切です。

4)エコーウイルス

1～2日の高熱、頭痛、吐き気、発疹などがあります。髄膜炎を起こすこともあります。のどに点々とした赤い発疹が見られることがよくあります。新生児でもかかることがあります。

いずれも特効薬はなく、抗生剤は効きません。安静と水分補給で様子を見ます。感染力は強く潜伏期は2～7日ぐらいです。咽頭結膜熱は高熱が続き感染力も強いので、熱が下がっても2日ぐらい休む方がよいでしょう。手足口病、ヘルパンギーナは熱がなく元気であれば通園・通学してもかまいません。

赤ちゃんの向き癖

赤ちゃんの頭蓋骨は柔らかいため、寝ているとき時にいつも同じところが下になる「向き癖」が頭の変形の原因になります。

変形すると余計に同じ方向を向きがちになるので向き癖を作らない工夫が大切です。

★新生児期から

授乳ごとに頭の向きを変える

★2ヶ月以降

赤ちゃんが向きやすい方の反対側に、興味のあるおもちゃなどを置く

★3ヶ月以降

赤ちゃんが起きているときに腹ばい遊びの時間をつくる

頭の形が気になる場合は、かかりつけ医に相談してみてもよいでしょう。(こまさん)

だいじょうぶ だいじょうぶ

作・絵:いとう ひろし

ぼくが小さかった頃、いつもおじいちゃんと散歩をしていました。怖いことと不安なことがたくさんあります。そんな時はおじいちゃんの魔法の言葉があります。「だいじょうぶ だいじょうぶ」



よく晴れた日、おじいちゃんおばあちゃんとお散歩してみませんか？ (ぴーなっつ)

……感染症情報(6月1日現在)……

★インフルエンザA型が所々で流行しています。

★RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、嘔吐下痢症、溶連菌感染症も少しずつ出ています。

6月24日(土) 休診

日本小児科医会フォーラム出席のため